人類生態学教室年報　—2019 年・2020 年—
Biannual Report of the Department of Human Ecology　—2019/2020—

2021 年 5 月
東京大学大学院医学系研究科国際保健学専攻人類生態学教室
Department of Human Ecology, School of International Health,
Graduate School of Medicine, The University of Tokyo

目次

教育活動（2019 年度・2020 年度） 2
学部講義 2
学部実習 9
大学院講義 10
卒業論文 12
修士論文 12
博士論文 12
研究業績（2019 年・2020 年） 13
原著論文 13
単行本 14
総説・資料・他 14
学会発表 15
受賞 17
競争的資金の獲得 17
教室員一覧（2019 年度・2020 年度） 19

人類生態学教室ウェブサイト
http://www.humeco.m.u-tokyo.ac.jp/

教育活動（2019 年度・2020 年度）

学部講義

生理学（2 年生・必修）

【2019 年度】　担当：佐々木誠一

9 月 27 日	生理学の基礎、血液、呼吸
10 月 4 日	循環、腎臓の機能
10 月 11 日	消化と吸収、栄養と代謝、体温の調節
10 月 18 日	内分泌、生殖、神経とシナプス
10 月 25 日	筋収縮、神経系、感覚
11 月 1 日	試験
11 月 8 日	血圧測定と心電図に関する実習

【2020 年度】　担当：佐々木誠一

9 月 25 日	生理学の基礎、血液、呼吸
10 月 2 日	循環、腎臓の機能
10 月 9 日	消化と吸収、栄養と代謝、体温の調節
10 月 16 日	内分泌、生殖、神経とシナプス
10 月 23 日	筋収縮、神経系、感覚
10 月 30 日	試験
11 月 6 日	血圧測定と心電図に関する実習

環境と健康（2 年生・必修）

【2019 年度】

11 月 28 日	環境保健学の基礎１：リスク評価 安心／安全とは何か？（小西祥子）
12 月 5 日	環境保健学の基礎２：リスクコミュニケーション 妊娠中に魚を食べても大丈夫？（小西祥子）
12 月 12 日	大気汚染と健康（新田裕史）、 地球環境と健康（橋爪真弘）
12 月 19 日	職場の心理社会的環境と健康（渡辺和広）、 環境対策の実際（渡辺知保）
12 月 26 日	衛生環境と健康（仲上豪二朗）、職業曝露と健康（吉田稔）
1 月 9 日	トピックス　福島原発事故と健康総合科学、グループワーク発表 （小西祥子）
1 月 16 日	まとめと試験（小西祥子）

【2020 年度】

11月19日	環境保健学の基礎と演習１：リスク評価 安心／安全とは何か？（小西祥子）
11月26日	環境保健学の基礎と演習２：リスクコミュニケーション（小西祥子）
12月3日	各論１「地球環境と健康」（橋爪真弘）、 各論２「生態系サービスと健康」（大久保悟）
12月10日	各論３「近隣居住環境／腸内環境と健康」（梅﨑昌裕）、 各論４「災害時の環境モニタリングと健康」（中島大介）
12月17日	各論５「水と健康」（片山浩之）、 各論６「福島原発事故と健康」（後藤あや）
12 月 24 日	福島原発事故と健康総合科学　グループワークと発表（小西祥子）
1月7日	まとめと試験（小西祥子）

薬理学・毒性学（2 年生・必修）

【2019 年度】

11 月 19 日	薬はなぜ効くのか 薬理学入門（姫野誠一郎）
11 月 26 日	毒とは何か？ どこまで安全か？ 毒性学入門（姫野誠一郎）
12 月 3 日	薬害、食中毒、環境汚染はなぜ起こるのか（姫野誠一郎）
12 月 10 日	発達神経毒性、動物を用いた行動毒性試験（葩島旭）
12 月 17 日	薬理ゲノム学（東口治弘）、自律神経および循環薬理学（廣瀬謙造）
1 月 7 日	薬物間相互作用（高田龍平）、薬物動態学の基礎（苅谷嘉顕）
1 月 14 日	中枢神経薬理学（上田泰己）、医薬品の安全評価 （小出大介）
1 月 21 日	試験

【2020 年度】

12 月 1 日	薬はなぜ効くのか 薬理学入門（姫野誠一郎）
12 月 8 日	毒とは何か？ どこまで安全か？ 毒性学入門（姫野誠一郎）
12 月 15 日	薬害、食中毒、環境汚染はなぜ起こるのか（姫野誠一郎）
12 月 22 日	発達神経毒性、動物を用いた行動毒性試験（葩島旭）
1 月 5 日	薬理ゲノム学（東口治弘）、自律神経および循環薬理学（廣瀬謙造）
1 月 12 日	薬物間相互作用（高田龍平）、薬物動態学の基礎（苅谷嘉顕）
1 月 13 日	中枢神経薬理学（上田泰己）、医薬品の安全評価 （小出大介）
1 月 19 日	試験

人類生態学（3 年生・必修）

【2019 年度】

4 月 9 日　人類生態学の考え方（梅﨑昌裕)、自然人類学の方法（米田穣）

4 月 16 日　栄養と健康（梅﨑昌裕）

5 月 7 日　行動の生態学（梅﨑昌裕）

5 月 14 日　人口からみた人間（小西祥子）

5 月 21 日　社会の構造（梅﨑昌裕)、文化の進化（井原泰雄）

5 月 28 日　人類生態学のトピックス

1）　食嗜好と子どもの成長（小坂理子）

2）　腸内細菌と健康（高安伶奈）

3）　ヒトの「不妊」は進化の結果生じたか？
出生と妊孕力に関する研究の紹介（小西祥子）

4）　えぐい野生植物への嗜好性と健康（梅﨑昌裕）

6 月 5 日　まとめと試験

【2020 年度】

4 月 7 日　生態系の中の人間（梅﨑昌裕）

4 月 14 日　人間の生存と健康（梅﨑昌裕）

4 月 28 日　生態人類学の研究（梅﨑昌裕）

5 月 12 日　人類生態学の考え方（梅﨑昌裕)、人口からみた人間（小西祥子）

5 月 19 日　社会の構造（梅﨑昌裕)、自然人類学の方法（米田穣)、
文化の進化（井原泰雄）

5 月 26 日　人類生態学のトピックス

1）　食嗜好と子どもの成長（小坂理子）

2）　腸内細菌と健康（高安怜奈）

3）　人口転換のはじまりと終わり、そして未来（小西祥子）

4）えぐい野生植物への嗜好性と健康（梅﨑昌裕）

6 月 3 日　まとめ（梅﨑昌裕)、試験

医療人類学（3 年生・選択）

【2019 年度】　担当：梅﨑昌裕、卯田宗平、田所聖志

4 月 5 日　　信念・身体感

4 月 19 日　　リスク

4 月 26 日　　文化相対主義

5 月 10 日　　規範・制度

5 月 24 日　　贈答・交換

5 月 29 日　　正義・互酬性

5 月 31 日　　異文化理解

10 月 19-20 日　フィールドワーク実習（長崎県平戸市度島）

【2020 年度】　担当：梅﨑昌裕、卯田宗平、田所聖志

4 月 10 日　　ガイダンス、身体観

4 月 17 日　　文化相対主義

4 月 24 日　　規範・制度

5 月 1 日　　互酬性

5 月 8 日　　暴力・災害

5 月 22 日　　リスク、総合討論

人口学（3 年生・選択）

【2019 年度】

9 月 24 日	人口構造の分析・人口指標の計算（小西祥子）
10 月 1 日	死亡の人口指標（標準化死亡率／比、生命表解析：小西祥子）
10 月 8 日	出生の人口指標（普通出生率、合計特殊出生率：小西祥子）
10 月 15 日	出生の生物人口学（小西祥子）
10 月 29 日	人類集団の人口学（末吉秀二、梅﨑昌裕）
11 月 5 日	人口推計の方法（小西祥子）
11 月 12 日	世界と日本の人口問題（小西祥子）

【2020 年度】

9 月 29 日	「人口学」はヒトの数を数える学問である！？
	―人口統計学の基礎理論・人口の構造理論（小西祥子）
10 月 6 日	地球人口はどこまで増えるのか？―人口の成長理論（小西祥子）
10 月 13 日	「子ども数」はどのように決まるのか？
	―出生の理論・出生の生物人口学（小西祥子）
10 月 20 日	平均寿命の計算方法をマスターしよう！
	―死亡と生命表の理論（小西祥子）
10 月 27 日	フィールドワークで人口を研究する
	―人類集団の人口学【トピックス】（末吉秀二、梅﨑昌裕）
11 月 10 日	人口学の超有名理論を理解しよう！
	―人口再生産理論・安定人口理論（小西祥子）
11 月 17 日	人類の未来を投影によって考える―人口推計・試験（小西祥子）

環境人間工学（4 年生・選択）

【2019 年度】

6 月 5 日　　オリエンテーションなど（小坂理子）
6 月 12 日　　バイオ医薬品・遺伝子治療・メッセンジャーRNA 医薬品（内田智士）
6 月 19 日　　都市環境と身体活動（樋野公宏）
6 月 26 日　　Ecological Momentary Assessment の臨床応用（吉内一浩）
7 月 3 日　　ロボット工学とサイバーフィジカル みまもり工学への一歩（森武俊）
7 月 10 日　　ロボット工学とサイバーフィジカル
　　非拘束人体センシングからロボティックマットレスまで（野口博史）
7 月 17 日　　環境工学におけるリスク管理（福士謙介）

【2020 年度】

6 月 10 日　　カフレス血圧計測、ストレス計測、頭脳労働生産性向上（割澤伸一）
6 月 17 日　　ロボット工学とサイバーフィジカル みまもり工学への一歩（森武俊）
6 月 24 日　　バイオ医薬品、遺伝子治療、メッセンジャーRNA 医薬品（内田智士）
7 月 1 日　　Ecological Momentary Assessment の臨床応用（吉内一浩）
7 月 8 日　　近隣居住環境と身体活動（小坂理子）
7 月 22 日　　試験

健康空間情報科学（4 年生・選択）

【2019 年度】　担当：小坂理子

9 月 30 日　　基盤地図情報のダウンロードと地図化
10 月 7 日　　国勢調査データのダウンロードと地図化
10 月 21 日　　国土数値情報のダウンロードと地図化
10 月 28 日　　標準地域メッシュ統計のダウンロードと地図化
11 月 7 日　　空間データへの属性データの結合
11 月 11 日　　主題図の作成と発表
11 月 13 日　　主題図の作成と発表

【2019 年度】　担当：小坂理子

9 月 28 日　　基盤地図情報のダウンロードと地図化
10 月 5 日　　国勢調査データのダウンロードと地図化
10 月 12 日　　国土数値情報のダウンロードと地図化
10 月 19 日　　標準地域メッシュ統計のダウンロードと地図化
10 月 26 日　　空間データへの属性データの結合
11 月 2 日　　主題図の作成と発表
11 月 9 日　　主題図の作成と発表

学部実習

生命環境科学演習（3 年生・専修必修）

【2019 年度】　6 月 19 日　　担当：小西祥子、高安伶奈　環境化学（微量元素）

【2020 年度】　6 月 22 日　　担当：高安怜奈

大学院講義

人類生態学特論Ⅰ（Human Ecology I）

【2019 年度】

April 19 Orientation (Masahiro Umezaki, Shoko Konishi)
April 26 Anthropological Perspectives on Health and Disease (Masahiro Umezaki)
May 10 Diet and Nutrition in Health and Disease (Masahiro Umezaki)
May 17 Medical Anthropology (Junko Kitanaka)
May 24 Environmental Health and Human Ecology (Shoko Konishi)
June 7 Human Ecology, Ecohealth and Global Health (Kazuhiro Moji)
June 21 Case studies of Human Ecology (Masahiro Umezaki)

【2020 年度】

May 8 Human Ecology Perspectives (Masahiro Umezaki, Shoko Konishi)
May 15 Diet and Nutrition in Health and Disease (Masahiro Umezaki)
May 22 Urban Health (Keiko Nakamura)
May 29 Human Ecology, Ecohealth and Global Health (Kazuhiro Moji)
June 5 Anthropological Perspectives on Health and Disease (Masahiro Umezaki)
June 12 Environmental Health and Human Ecology (Shoko Konishi)
June 19 Case studies of Human Ecology
(Masahiro Umezaki, Shoko Konishi, Satoko Kosaka, Lena Takayasu)

人類生態学特論 II （Human Ecology II）

【2019 年度】

Oct 9　Introduction to Science of Population and Life-cycle (Ryuichi Kaneko)

Oct 16　Human-Chimpanzee interfaces in the West African landscape: Evolution, zoonoses, and conservation (Gen Yamakoshi)

Oct 23　Environmental Contaminants and Children's Health (Seiichiro Himeno)

Oct 30　Epidemiological Studies of Minamata Disease and Air Pollution (Takashi Yorifuji)

Nov 6　Role of Environmental Monitoring in the International Treaties, Stockholm Convention and Minamata Convention (Yasuyuki Shibata)

Nov 14　Fertility of Immigrant Women in Japan (Yu Korekawa)

Nov 20　Gut microbiota and Health (Lena Takayasu)

【2020 年度】

Oct 7　Human-Chimpanzee interfaces in the West African landscape: Evolution, zoonoses, and conservation (Gen Yamakoshi)

Oct 14　Introduction to Science of Population and Life-cycle (Ryuichi Kaneko)

Oct 21　Environmental Contaminants and Children's Health (Seiichiro Himeno)

Oct 28　Medical Anthropology and Global Health: Exploring the Complex Relationship between Culture, Society and Health/Illness, and Meeting Public Health Challenges in a Globalizing World (Ryoko Michinobu)

Nov 4　Role of Environmental Monitoring in the International Treaties, Stockholm Convention and Minamata Convention (Yasuyuki Shibata)

Nov 12　Fertility of Immigrant Women in Japan (Yu Korekawa)

Nov 18　Gut microbiota and Health (Lena Takayasu)

卒業論文

【2019 年度】

濱崎貴介

妊娠確率の異質性についてのモデル研究

Yuki Nagai / 永井裕貴

Betel nut chewing and smoking among adults in Uaripi village, Gulf province in Papua New Guinea

【2020 年度】

前川瑞穂

子どもの低栄養に対する Water, Sanitation and Hygiene (WASH)の影響：Papua New Guinea Demographic and Health Survey (2016-2018)の分析

Momoka Masuda / 増田桃佳

Dietary Patterns and Telomere Length in Young Japanese Women

山下大志

日本人女性における早産と男性パートナーの年齢の関連についての研究

修士論文

【2019 年度】

Mihoko Kibe / 木部未帆子

Divergence in nutritional intake and physical activity patterns among households in a village of ethnic minorities in Northern Laos at the initial stage of health transition

【2020 年度】

Hur Kyu

The modifying effect of airborne pollen on the association between air pollution and mortality: an analysis of eight cities in Kyushu, Japan

山中裕太

高齢者に対する様々な生活支援の 受容に関わる背景:地域包括ケアシステムの展開に向けた基礎的研究

博士論文

【2019 年度】【2020 年度】該当なし

研究業績（2019 年・2020 年）

原著論文

【2019 年】

- Horwood PF, Tarantola A, Navarro S, Goarant C, Matsui M, Klement E, Umezaki M and Greenhill AR. (2019) Health challenges of the Pacific region: Insights from history, geography, social determinants, genetics and the microbiome. Front Immunol. doi: 10.3389/fimmu.2019.02184
- Wai KM, Umezaki M, Mar O, Umemura M, Chiho Watanabe (2019) Arsenic exposure through drinking water and oxidative stress status: A cross-sectional study in Ayeyarwaddy region, Myanmar. J Trace Elem Med Biol, 54:103-109.
- Wai KM, Ser PH, Ahmad SA, Yasmin R, Ito Y, Konishi S, Umezaki M, Watanabe C. (2019) In-utero arsenic exposure and growth of infants from birth to 6 months of age: a prospective cohort study in rural Bangladesh. Int J Environ Health Res, 1-14.
- Mizuno Y, Konishi S, Imai H, Fujimori E, Kojima N, Yoshinaga J (2019) Cadmium exposure and blood telomere length in female university students in Japan. Biol Trace Elem Res. https://doi.org/10.1007/s12011-019-1656-3.
- Khan R, Konishi S, Ng CFS, Umezaki M, Kabir AF, Tasmin S, Watanabe C (2019) Association between short-term exposure to fine particulate matter and daily emergency room visits at a cardiovascular hospital in Dhaka, Bangladesh. Sci Total Environ, 646:1030-1036.

【2020 年】

- Jonduo M, Lorry W, Geraldine M, Hattori M, Suda W, Takayasu L, Abdad Y, Greenhill A, Horwood, P, Pomat W, Umezaki M. (2020). Gut microbiota composition in obese and non-obese adult relatives from the highlands of Papua New Guinea. FEMS Microbiol Lett. 367(19), fnaa161.
- Masuoka H, Suda W, Tomitsuka E, Shindo C, Takayasu L, Horwood P, Greenhill A, Hattori M, Umezaki M, Hirayama K. (2020). The influences of low protein diet on the intestinal microbiota of mice. Sci Rep. 10(1), 1-10.
- Ieiri MCA, Kosaka S, Umezaki M. (2020). Factors affecting undernutrition among school children in Cebu, Philippines. Ecol Food Nutr. 1-16.
- Wai KM, Umezaki M, Umemura M, Mar O, Watanabe C. (2020) Protective role of selenium in the shortening of telomere length in newborns induced by in utero heavy metal exposure. Environ Res. 183, 109202.

- Konishi S, Saotome TT, Shimizu K, Oba MS, O'Connor KA. (2020) Coital frequency and the probability of pregnancy in couples trying to conceive their first child: A prospective cohort study in Japan. Int J Environ Res Public Health, 17, 4985; doi:10.3390/ijerph17144985.
- Takewaki D, Suda W, Sato W, Takayasu L, Kumar N, Kimura K, Kaga N, Mizuno T, Miyake S, Hattori M, Yamamura T. (2020) Alterations of the gut ecological and functional microenvironment in different stages of multiple sclerosis. Proc Natl Acad Sci USA. 117(36):22402-22412.
- Watanabe K, Morohoshi S, Kunihiro T, Ishii Y, Takayasu L, Ogata Y, Shindo C, Suda W. (2020) Fluviibacter phosphoraccumulans gen. nov., sp. nov., a polyphosphate-accumulating bacterium of Fluviibacteraceae fam. nov., isolated from surface river water. Int J Syst Evol Microbiol. 70(10), 5551-5560.

単行本

【2019 年】
該当なし
【2020 年】
- 梅﨑昌裕，風間計博（編）（2020）『オセアニアで学ぶ人類学』 昭和堂.
- 小西祥子（2020）「『集まる』ための性行動と再生産」大塚柳太郎（編）『生態人類学は挑む SESSION 1 動く・集まる』京都大学学術出版会．pp. 153-174.

総説・資料・他

【2019 年】
- 高安伶奈，増岡弘晃，須田亙（2019）腸内細菌叢の解析法の進歩，モダンメディア, 65(11): 133-138.
- 小坂理子（2019）「食と健康」信田敏宏（編）『東南アジア文化事典』丸善出版．pp. 428-429.
- 小西祥子(2019)「『妊娠しやすさ』の科学的な評価―受胎確率と妊娠待ち時間―」保健の科学 61:599-603. 特集：出生力にかかわる生物学的・行動学的な要因

【2020 年】
- 高安伶奈（2020）「腸内細菌叢予測への取り組み 1:常在細菌叢データの数理への応用にむけて」福田真嗣（編）『腸内デザインに向けた腸内細菌叢生態学』 羊土社．pp. 3060-3065.
- 増岡弘晃，須田亙，高安伶奈（2020）マイクロバイオーム研究手法．臨床免疫・アレルギー科, 74(1):1-6.

- 高安伶奈（2020）「メタゲノム解析法」 梅崎良則，藤沢倫彦，大橋雄二（編）『腸内細菌叢の基礎知識と研究開発における留意点』情報機構．pp 62-70
- 高安伶奈（2020）「マウス：加齢と腸内細菌叢」服部正平（編）『ヒトマイクロバイオーム Vol.2 ―解析技術の進展とデータ駆動型・ターゲット機能型研究最前線―』NTS．pp．149-153
- 高安伶奈，増岡弘晃，須田亙（2020）腸内細菌叢の解析法の進歩．モダンメディア，66(5); 133-138.

学会発表

【2019 年】

- 濱崎貴介，小西祥子，高安伶奈，大槻久．妊娠確率の異質性と完全不妊についてのモデル研究．第 12 回人間行動進化学会，2019 年 12 月 7-8 日，東京.
- 高安伶奈．マイクロバイオームのダイナミクスの特徴とモデル化 ．第 42 回日本分子生物学会，2019 年 12 月 3-6 日，福岡.
- 梅﨑昌裕．知られざるヒトの適応機構の解明：フィールドワークからの挑戦．第 39 回日本看護科学学会学術集会，2019 年 11 月 30 日-12 月 1 日，金沢.
- 水野佑紀，増岡弘晃，木部未帆子，小坂理子，夏原和美，平山和宏，Nouhak Inthavong, Sengchanh Kounnavong，富田晋介，梅﨑昌裕．ラオス北部山岳民の尿中ヒ素濃度と属性・生活習慣および血圧との関連．第 25 回ヒ素シンポジウム，2019 年 11 月 23-24 日，群馬.
- Konishi S, Saotome TT, Shimizu K, Oba MS, O'Connor KA. Coital frequency, infertility treatment, and probability of conception of Japanese couples trying to conceive. The Annual Meeting of the American Anthropological Association, November 20-24, 2019, Vancouver, BC.
- 小西祥子，梅﨑昌裕，鈴木庄亮．女性の既往出生児数と主観的健康の関連－検証的因子分析を用いたメカニズムの検討．第 84 回日本健康学会，2019 年 11 月 1-3 日，長崎.
- 酒井悠衣，荒木徹也，関山牧子，小西祥子．インドネシアにおける食塩摂取量の推定．第 84 回日本健康学会，2019 年 11 月 1-3 日，長崎.
- 中尾理恵子，大西真由美，夏原和美，小谷真吾，田所聖志，末吉秀二，柳生文宏，梅﨑昌裕．中高年住民の災害に対する備えに関連する要因― 長崎エコヘルス調査―．第 84 回日本健康学会，2019 年 11 月 1-3 日，長崎.
- 水野佑紀，梅﨑昌裕，小西祥子，清水華，渡辺知保，ENVRERA 調査グループ．尿中重金属類濃度と血圧との関連: ENVRERA 調査のデータベース解析．メタルバイオサイエンス研究会 2019，2019 年 10 月 29-30 日，東京.（ポスター）

- 高安伶奈．マイクロバイオームデータの解析実践．御茶ノ水 Oncology Forum 2019～肺癌治療～，2019 年 9 月 21 日，東京．
- 高安伶奈，須田亙，渡辺栄一郎，梅山大地，黒川李奈，服部正平．メタゲノムデータを活用した常在細菌叢の時系列解析．日本微生物生態学会第 33 回大会，2019 年 9 月 10-13 日，甲府．
- Hiroaki Masuoka, Masahiro Umezaki, Wataru Suda, Lena Takayasu, Eriko Tomitsuka, Paul Horwood, Andrew Greenhill, Masahira Hattori, Kazuhiro Hirayama. Adaptation to low-protein diet induced by transplantation of human microbiota in germfree mice. Cold Spring Harbor Laboratory Meeting 2019: Microbiome. July 18-21, 2019, New York, The United States. (Poster)
- 水野佑紀，小西祥子，後藤千穂，梅﨑昌裕，今井秀樹．栄養素摂取量とテロメア長との関連．第 89 回日本衛生学会学術総会，2019 年 2 月 1-3 日，名古屋．

【2020 年】

- 小西祥子，森木美恵，仮屋ふみ子，赤川学．現代日本の男性の社会経済的属性と再生産行動．日本人間行動進化学会第 13 回大会，2020 年 12 月 12-13 日，福岡（オンライン）．
- 梅﨑昌裕．人類にとって「労働／朗働」とは何か．第 28 回日本産業ストレス学会（特別講演）．2020 年 12 月 4-5 日（オンライン）．
- 水野佑紀，増岡弘晃，木部未帆子，小坂理子，夏原和美，平山和宏，Nouhak Inthavong, Sengchanh Kounnavong，富田晋介，梅﨑昌裕．ラオス北部住民の重金属類暴露と血圧との関連．第 31 回日本微量元素学会学術集会，2020 年 11 月 27-28 日，静岡．
- 小西祥子．第 1 子の妊娠待ち時間と第 2 子出生のタイミング：妊孕力と出生力の関連についての予備的分析．日本人口学会第 72 会大会，2020 年 11 月 14-15 日，越谷（オンライン）．
- 高安伶奈．一生にわたる腸内細菌叢ダイナミクスと寿命．第 20 回生命科学シンポジウム，2020 年 10 月 30-31 日（オンライン）．
- 高安伶奈．宿主寿命に関わる腸内細菌叢ダイナミクス．日本人口学会東日本地域部会（招待講演）．2020 年 9 月 19 日（オンライン）．
- Lena Takayasu. Procedures and protocols for gut microbiome analysis. International Workshop on Eukaryotic Microbiome. The Asian Research Network on Eukaryotic Microbiome Studies (招待講演). 2020 年 3 月 18 日. Tokyo.
- 水野佑紀，増岡弘晃，木部未帆子，小坂理子，夏原和美，平山和宏，Nouhak Inthavong, Sengchanh Kounnavong，富田晋介，梅﨑昌裕．ラオス北部住民の尿中重金属類濃度と血圧との関連．第 90 回日本衛生学会学術総会，2020 年 3 月，盛岡（誌上開催）．
- 高安伶奈．一生にわたるマウス腸内細菌叢の時系列ダイナミクス．Universal Biology Institute seminar 53th，2020 年 1 月 30 日．東京．

受賞

【2019 年】

- 日本ヒ素研究会 第 25 回ヒ素シンポジウム奨励賞（水野佑紀）
  水野佑紀，増岡弘晃，木部未帆子，小坂理子，夏原和美，平山和宏，Nouhak Inthavong, Sengchanh Kounnavong，富田晋介，梅﨑昌裕．ラオス北部山岳民の尿中ヒ素濃度と属性・生活習慣および血圧との関連．第 25 回ヒ素シンポジウム，2019 年 11 月 23-24 日，群馬．

【2020 年】

- 日本人口学会 第 17 回日本人口学会優秀論文賞（小西祥子）
  Konishi S, Sakata S, Oba SM, O'Connor KA. Age and time to pregnancy for the first child among couples in Japan. J Pop Stud (Jinkogakukenkyu) 54, 1-18.
- みんぱく若手研究者奨励セミナー賞（木部未帆子）
  木部未帆子．少数民族の危機と移住―ラオス山岳部の農村における集落統合後の土地利用と生存戦略の民族間差―．2020 年度みんぱく若手研究者奨励セミナー．2020 年 11 月 25-26 日．大阪．

競争的資金の獲得

【2019 年度および 2020 年度に新たに獲得したもの】

- 2021-2022 年度．食の文化研究助成事業．「忌避される味の嗜好ーなぜラオス山岳部の少数民族集団は野生植物を食べるのかー」（代表者：木部未帆子）
- 2021-2022 年度．公益財団法人発酵研究所（若手研究者助成）．「マウス腸内細菌におけるゲノム進化速度の解明」（代表者：高安伶奈）
- 2020-2024 年度．科学研究費補助金・基盤研究（C）．「栄養転換の進展と栄養不良の二重負荷―インドネシア・スンダ農村での継続的観察調査―」（代表者：小坂理子）
- 2020-2021 年度．三菱財団自然科学研究助成．「腸内細菌がタンパク必要量に与える影響：パプアニューギニア高地人の糞便サンプルを用いた研究」（代表者：梅﨑昌裕）
- 2020-2021 年度．科学研究費補助金・新学術領域研究(研究領域提案型)．「リモートオセアニアへの拡散を可能にした栄養適応システムの解明」（代表者：梅﨑昌裕）
- 2020-2021 年度．科学研究費補助金・挑戦的研究(萌芽)．「 人類が直面する「健康転換」の知られざる背景：ファイトケミカルと腸内細菌叢」（代表者：梅﨑昌裕）
- 2019-2023 年度．科学研究費補助金・国際共同研究加速基金（国際共同研究強化(B)）．「東南アジア諸国の食塩摂取量およびコールドチェーンが国民健康改善に及ぼす影響の評価」（代表者：荒木徹也，分担者：小西祥子）

- 2019-2022 年度．科学研究費補助金・基盤研究（B)．「人類の低タンパク適応メカニズムの固有性と普遍性」（代表者：梅﨑昌裕）
- 2019-2021 年度．課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（グルーバル展開プログラム)．「技術革新および環境化学物質は不妊を増加させたか」（代表者：小西祥子）

教室員一覧（2019 年度・2020 年度）

名誉教授

鈴木 継美　（2008 年 5 月ご逝去）
大塚 柳太郎
渡辺 知保

教授

梅﨑 昌裕

准教授

小西 祥子

助教

小坂 理子
高安 伶奈

サポートスタッフ

大和田 昌代
仮屋 ふみ子　（2019 年 7 月～）

博士課程大学院生

水野 佑紀
Maricor Carmela Amoguis Ieiri　（2019 年 4 月～）
Richard III Flores Carino　（2019 年 4 月～）
木部 未帆子　（2020 年 4 月～）
Novee Lor Leyso　（2020 年 4 月～）

修士課程大学院生

木部 未帆子　（～2020 年 3 月）
Kyu Hur　（2019 年 4 月～2021 年 3 月）
山中 裕太　（2019 年 4 月～2021 年 3 月）
田久保 亜美　（2019 年 4 月～）
濵﨑 貴介　（2020 年 4 月～）
Claire Liow Yi Jia　（同上）

Cindy Rahman Aisyah　（同上）
永井 祐貴　（同上）
関家 紗愛　（同上）

学部学生（卒業論文）

濵﨑 貴介　（～2020 年 3 月）
永井 祐貴　（同上）
増田 桃佳　（～2021 年 3 月）
山下 大志　（同上）
前川瑞穂　（同上）

客員研究員

須田 一弘
野林 厚志
夏原 和美
富田 晋介
田所 聖志　（2019 年 4 月～）
稲葉 洋平　（同上）
斎藤 佳絵　（2019 年 7 月～）
森木 美恵　（2020 年 1 月～）
須田 亙　（2020 年 4 月～）
Kyi Mar Wai　（2020 年 7 月～）
大西 真由美　（2020 年 9 月～）
中尾 理恵子　（同上）
浅見 幸夫　（2019 年 7 月～2021 年 3 月）

非常勤講師

大久保 悟
金子 隆一
北中 淳子
後藤 あや
是川 夕
佐々木 誠一
柴田 康行
田所 聖志
中村 桂子

蔦島 旭
橋爪 真弘
姫野 誠一郎
道信 良子
門司 和彦
吉田 稔
山越 言
頼藤 貴志